平成29年4月4日
愛　媛　大　学

～1枚のコインがつなぐ過去と未来～
シンポジウム「愛媛とロシア・オレンブルグの交流」を開催

　このたび、愛媛大学国際連携推進機構は、シンポジウム「愛媛とロシア・オレンブルグの交流～1枚のコインがつなぐ過去と未来～」を下記のとおり開催します。
　本シンポジウムでは、2010年に松山城二之丸跡で「1枚のコイン」が発見されたことを契機として交流が芽生えつつあるロシア・オレンブルグ州から産官学訪問団をお招きし、これまでの松山とロシアの間の歴史を振り返りつつ、今後の愛媛とオレンブルグの地域間交流の可能性と展望について議論します。

　つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、是非取材くださいますようお願いいたします。

記

日　時：平成29年4月11日（火）14時30分～17時30分　（受付14:15～）
場　所：愛媛大学城北キャンパス　総合情報メディアセンター　メディアホール
対　象：一般の方、愛媛大学生・教職員
定　員：約100人
言　語：日本語、ロシア語、英語（通訳あり）
参加費：無料
参加申込URL：https://goo.gl/2BPrZs

※本シンポジウムに合わせ、愛媛大学ミュージアムにおいて、スポット展示「愛媛とロシア・オレンブルグの交流～1枚のコインがつなぐ過去と未来～」を開催します。是非ご覧ください。
　期間：平成29年4月7日(金)～5月8日(月)
　場所：愛媛大学ミュージアムエントランスホール
　駐車場：無（公共交通機関をご利用ください）
　　※伊予鉄道市内電車「鉄砲町」下車、北へ徒歩約2分
　　※報道機関の方で、車で取材に来られる場合は、正門守衛室で会社名等をご記入の上、来客用駐車場を利用してください。

本件に関する問い合わせ先
愛媛大学国際連携支援部国際連携課
岩田　剛
TEL：089-927-8959
Mail: kokuki@stu.ehime-u.ac.jp

※送付資料4枚（本紙を含む）

シンポジウム

愛媛とロシア・オレンブルグの交流
～1枚のコインがつなぐ過去と未来～

主　催　　愛媛大学，愛媛県，坊っちゃん劇場　　　後　援　　松山市，東温市

(Bezrukov Mikhail氏所有，Svetlana Mikhaylova氏協力)

1904-05年の日露戦争時，松山には捕虜収容所が設けられ，市民がロシア兵たちを温かくもてなした歴史があります。また，松山市内のロシア兵墓地では今日に至るまで，近隣の勝山中学校生徒や地域住民による清掃活動が行われています。

一方，近年では2012年，坊っちゃん劇場によるミュージカル作品「誓いのコイン」のロシア公演の成功を契機として，新たに愛媛県とオレンブルグ州という地域対地域の交流が芽生えています。2016年には，愛媛大学はオレンブルグ国立大学との間で学術交流協定を締結しました。

このような背景を踏まえ，このたび，オレンブルグ州とオレンブルグ市から関係者をお迎えし，これまでの歴史を振り返りつつ，今後の愛媛とオレンブルグの地域間交流の可能性と展望について考えます。

開催日時：2017年4月11日（火）　14:30～17:30

会　場：愛媛大学 城北キャンパス 総合情報メディアセンター 1階ホール（裏面地図参照）

お問い合わせ先：愛媛大学国際連携課国際支援チーム

E-mail: kokuki@stu.ehime-u.ac.jp　TEL　089-927-8959

参加申込QRコード ⇒

シンポジウム「愛媛とロシア・オレンブルグの交流 ～1枚のコインがつなぐ過去と未来～」プログラム

14:30～14:35　開会挨拶　愛媛大学副学長（国際連携・地域医療担当）　安川　正貴
14:35～14:45　オレンブルグ州産官学愛媛訪問団代表挨拶
　　　　　　　オレンブルグ州文化・外交関係大臣　エブゲーニア・シェフチェンコ
14:45～14:55　オレンブルグ州の紹介ビデオ上映
14:55～15:15　オレンブルグ国立大学副学長　スヴェトラーナ・パンコーヴァ
　　　　　　　「オレンブルグ国立大学について」
15:15～15:40　愛媛大学教育学部准教授　青木　亮人
　　　　　　　「松山とロシアの交流の歴史」
15:40～16:00　オレンブルグ国立大学日本情報センター長　リュドミーラ・ドカシェンコ
　　　　　　　「オレンブルグと愛媛の交流の歴史」
16:00～16:10　休　憩
16:10～16:35　東京ロシア語学院学院長　藻利　佳彦
　　　　　　　「プーシキンとオレンブルグ」
16:35～17:00　坊っちゃん劇場　社長　越智　陽一
　　　　　　　「ミュージカル『誓いのコイン』　国境を越えた愛と交流」
17:00～17:30　質疑応答

通訳：池田　慈（いけだ　めぐみ）（ピアニスト。松山市出身。愛媛大学教育学部を経て，モスクワ・グネーシン音楽アカデミー卒業。）

講演者略歴

青木　亮人　（あおき　まこと）
愛媛大学教育学部准教授。
同志社大学大学院文学研究科修了。博士（文学）。
専門は近現代俳句を中心とした日本文学。

藻利　佳彦　（もうり　よしひこ）
東京ロシア語学院学院長。
松山市出身。早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了。専門はプーシキン，日露戦争時の捕虜問題。

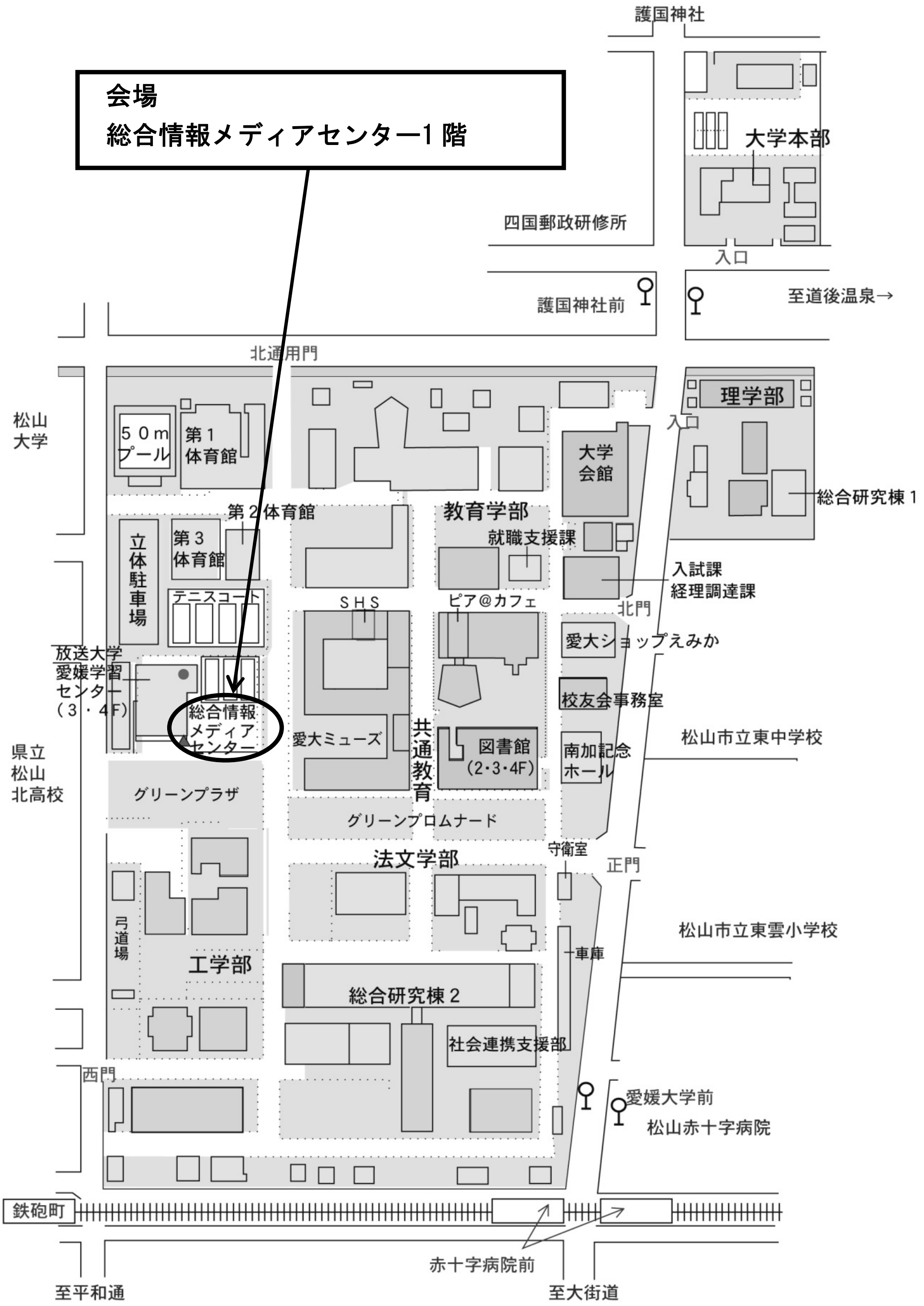
越智　陽一　（おち　よういち）
坊っちゃん劇場社長。
松山市出身。愛媛大学工学部卒業。製紙会社勤務等を経て，2006年に坊っちゃん劇場を設立し，2011年から現職。

エブゲーニア・シェフチェンコ (Ms. Evgeniia SHEVCHENKO)
オレンブルグ州文化・外交関係大臣。
オレンブルグ州ノヴォトロイツク市出身。オレンブルグ教育大学卒業。新聞記者，オルスク市広報課長，オレンブルグ州情報部次長等を経て，2015年から現職。

スヴェトラーナ・パンコーヴァ (Dr. Svetlana PANKOVA)
オレンブルグ国立大学副学長，同経済・財政学部教授。シベリア連邦管区ケメロヴォ州プロコピエフスク市出身。経済学博士。専門は会計学。2015年から副学長職を務める。

リュードミラ・ドカシェンコ (Dr. Liudmila DOKASHENKO)
オレンブルグ国立大学日本情報センター長，同経営学部准教授。オレンブルグ市出身。専門は経済学。2008年からセンター長職を務める。

本シンポジウムに合わせ，愛媛大学ミュージアムにおいて，スポット展示「愛媛とロシア・オレンブルグの交流～1枚のコインがつなぐ過去と未来～」を開催します。是非ご覧ください。

開催期間：
2017年4月7日(金)
　　～5月8日(月)
　（火曜日休館）
場　所：
　愛媛大学
　ミュージアム

愛媛大学キャンパスマップ（城北地区）